

岡山いのちと健康

2010年11月4日

NO. 28

岡山県労災職業病・
過労死連絡センター
岡山市北区春日町5-6
Tel. 086-221-0133

2交替導入阻止 長時間夜勤反対

夜勤シンポに

医労連は「2010年のちをまもる縦断キャラバン」として医師、看護師の大幅増員、長時間夜勤反対などを掲げ、10月29日から自治体、医師会、看護協会要請、街頭宣言

伝、署名など多彩な行動を展開。その一環で30日に「夜勤シンポ」を開き80人が参加。

夜勤の有害性解明
労働科学研究所の松元氏が「いま、夜勤の有害性を考える」と題して講演。夜勤の問題点として①生体リズムに反し、②疲労が蓄積しやすい③疲労が回復しにくいと、2交替、16時間勤務が長時間を睡眠させ、睡眠



調整の困難、睡眠不足、不良が身体に大きな影響を与えること、夜勤で乳がん発生のリスク、仮眠対策の重要性などを示して解明。

2交替、介護施設

医労連いのちまもる
縦断キャラバン

消防職員らが報告
つづいて国立病院の2交替導入について、不眠・疲労・集中力の低下をがまんして働いていることが患者にも我慢をしいていること、介護施設の看護師が2交替しているが、夜勤は看護師1人で仮眠もとれず、事故の無い事を祈りながら働いていること、団結権のない消防職員は、24時間交替勤務を強いられ、有給

休暇や休憩取得を申請しても認められず、過労死も起きていますと報告。

医労連の労働事態調査の県内集計でも「健康に不安」が2/3、「疲れが残る」が73%、6割以上が「薬を常用」など厳しい状況が広がっています。

40分で452筆
その後、岡山駅で24人が署名を呼び掛け40分で452筆を集めました。

無き主人の尊厳を守り 再び犠牲者を出さない

高梁市職員の森宏行氏過労死事件で地方公務員災害基金の「公務外」認定の取消訴訟が争われていきます。9月23日、高梁市職労、県職労などでつくる「森宏之氏公務災害訴訟支援の会」の報告会に114名が参加。

森過労死
報告集会

文化財の多い高梁市で、備中松山城の復元・修復、まち並み保存などを一人で担い、大幅なサービスマス残業や持ち帰り残業がありました。

基金は公簿にある残業時間以外は評価せず「上司から命令を受けておらず、私

的な趣味の活動である」と主張。

原告の妻・貴美さんは「3人の幼い子を育てながら仕事をし、裁判を闘うのは大変。亡き主人の尊厳を守るため、犠牲者を二度と出さないためにも、頑張ります」と述べました。

過労死センター総会・メンタルヘルス研修講座
12月11日9時半、きらめきプラザ